

# 防浸形フロアヒンジ

# 中心吊り自由開き・偏心持出吊り一方開き

## 防浸形フロアヒンジとは・・・

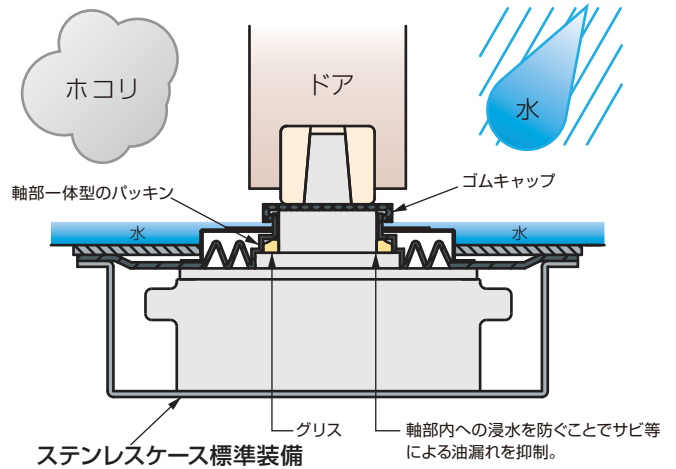
床面が水没しても、セメントケース内に浸水しない性能を備えたフロアヒンジです。

- ステンレス製セメントケースを標準装備。
- ゴムキャップ採用により、主軸部からの水の浸入を防ぎます。

水没状態でも浸水なし<sup>※</sup>  
 (水面はフロアプレートの上面より5mmを想定)

特許 第5174614号

※当社社内試験において



## 中心吊り自由開き

一般ドア用

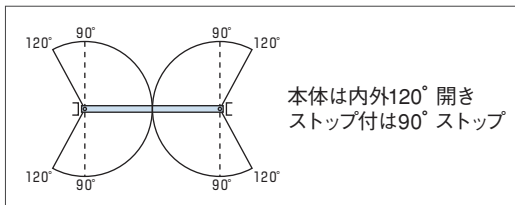
## USH-1300・USH-1400

強化硝子ドア用

## USE-1300・USE-1400

### ■特長

- じゃばら機構を備えた主軸部一体型パッキンの採用により、本体移動調整を行ってもパッキンが偏らず、水の浸入を防ぎます。



USH-1300



USE-1300

## 偏心持出吊り一方開き

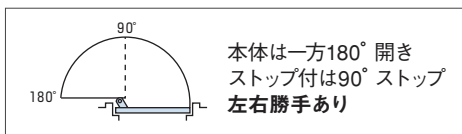
一般ドア用

## US-2250・US-2350

## US-2450・US-2550

### ■特長

- ゴム溶着ネジを採用。ネジ穴からの水の浸入を防ぎます。
- 左右勝手があります。



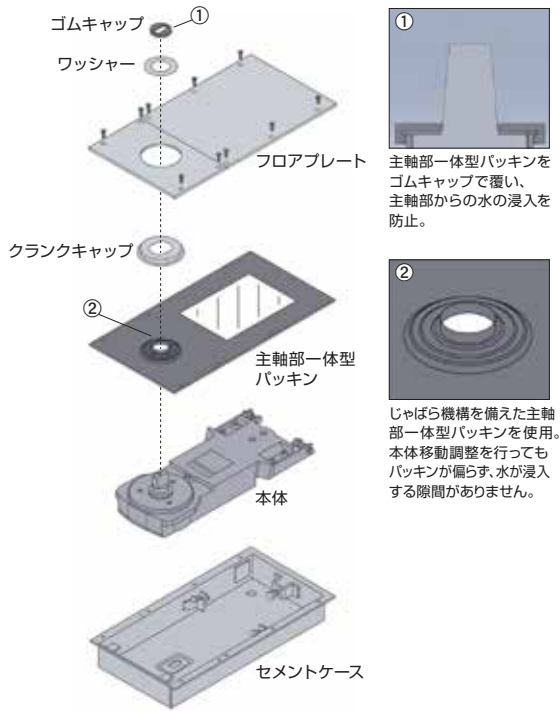
US-2250

### ■仕様比較

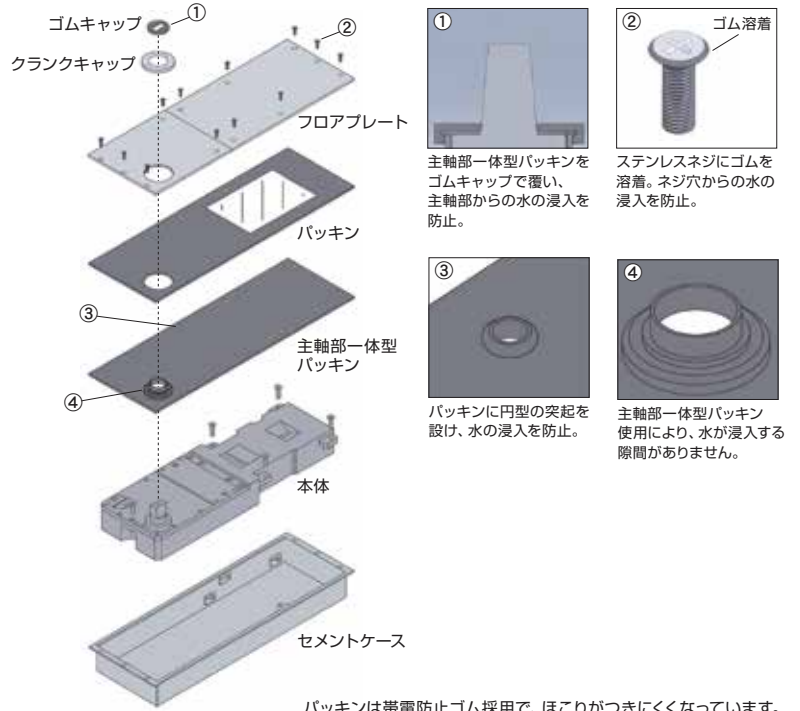
	標準品	防浸形フロアヒンジ	標準品	防浸形フロアヒンジ
	H-1300 シリーズ E-1300	USH-1300 シリーズ USE-1300	2000シリーズ	US-2000シリーズ
ゴムキャップ	—	NBR	—	NBR
ワッシャー	—	ステンレス	—	—
フロアプレート	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス
クランクキャップ	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス
パッキン	—	—	—	NBR
主軸部一体型パッキン	—	NBR	—	NBR
本体	鉄	鉄	鉄	鉄
セメントケース	鉄	ステンレス	鉄	ステンレス
ネジ類	鉄	ステンレス	鉄	ステンレス

## ■構造

### USH-1300 USE-1300 シリーズ (中心吊り自由開き)



### US-2000 シリーズ (偏心持出吊り一方開き)



## 中心吊り自由開き

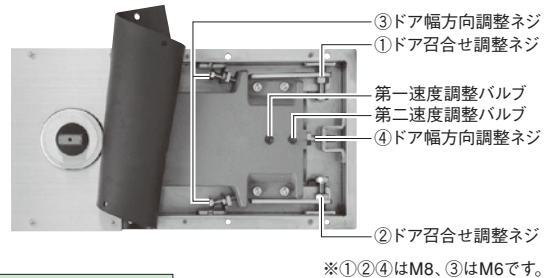
### ■閉扉速度調整

### ■ドア閉鎖位置の調整 (召合せ調整)

(P.23参照)

### ■ドア高さとの調整 (強化硝子ドア用)

(P.34参照)



品番		適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg 以下	備考
ストップなし	ストップ付			
USH-1300	USHS-1300	950×2100	110	本体移動調整型
USH-1400	USHS-1400	1050×2400	185	
USH-1300 ZII	USHS-1300 ZII	950×2100	110	ドア上部・本体移動調整型
USH-1400 ZII	USHS-1400 ZII	1050×2400	185	
※USE-1300	※USES-1300	914×2134	—	ドア上部・ドア下部・ 本体 移動調整型
※USE-1400	※USES-1400	1067×2134		

- 注) 1. 開き角度90° 辺りで制動力のあるCF機能付もあります。(オプション) ご注文の際は、品番の後にCFを付けて下さい。 発注例： USHS-1400CF  
2. 95° 以上開かない角度制限タイプもあります。(オプション) ご注文の際は、品番の後に-95° を付けて下さい。 発注例： USH-1300ZII-95°  
3. 一般ドア用のみステンレス製トップピボット・アームも製作可能。(オプション) トップピボットは上枠側の軸のみステンレス製となります。  
4. 右張りフロアヒンジ (I) は、P.37をご参照下さい。  
5. ZII型トップピボットはP.40をご参照下さい。  
6. ※にはトップピボット・アームは同梱されていません。必要な場合はご指示下さい。

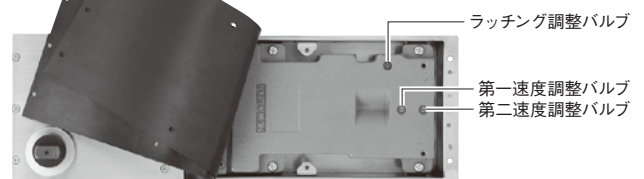
## 偏心持出吊り一方開き

### ■閉扉速度調整

### ■ラッチング調整

(P.30参照)

品番		適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg 以下
ストップなし	ストップ付		
US-2250	USS-2250	950×2100	70
US-2350	USS-2350	1050×2400	110
US-2450	USS-2450	1200×2400	150
US-2550	USS-2550	1600×2400	180



※US-2000シリーズは2000シリーズとは異なり、ストップの切替操作が出来ません。ご注文の際は、ストップ付・ストップなしをご指示願います。

- 注) 1. ステンレス製トップピボット・アームも製作可能。(オプション)  
2. 右張り側3mm 伸ばし (先端27mmカット) のK327型プレートも用意しております。  
3. ご注文の際は、品番の後にK327型を付けて下さい。 発注例： US-2550 K327型  
4. 左右勝手があります。

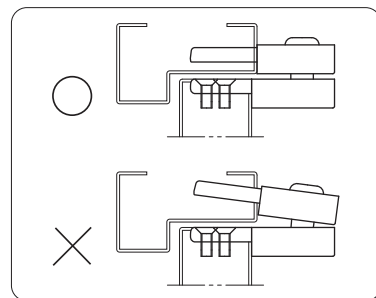
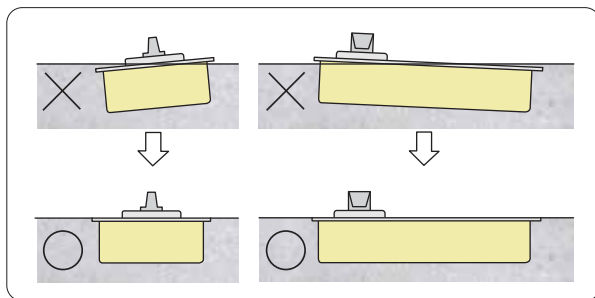
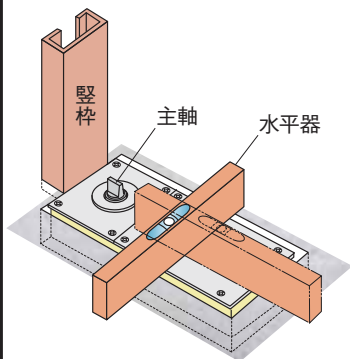
納まり図は67～68ページ

# フロアヒンジ | 注意事項

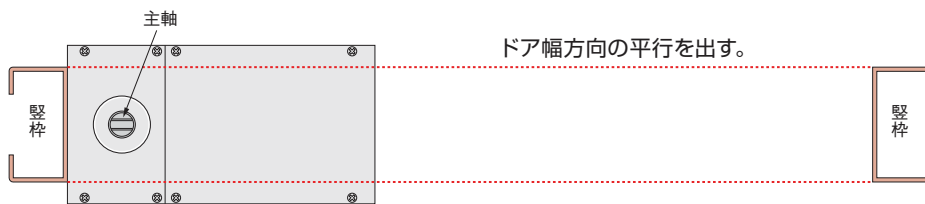
## ■取付時の注意

- 水平レベル  
本体の水平を出して下さい。

- トップピボットの取付 (持出吊り)  
必ず平行を守って下さい。



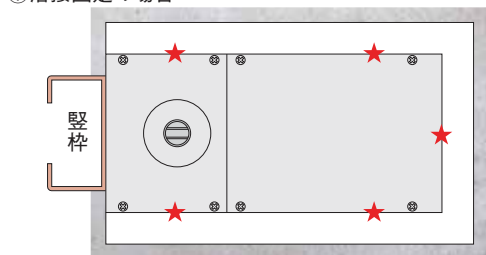
- 本体を縦枠と平行にする



- 本体を固定する

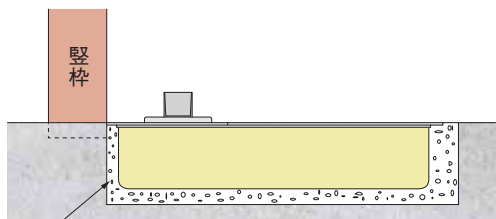
本体をモルタルにて固定する前に、プレート取付ネジの頭にモルタルが詰まらないようテープにて養生して下さい。

### ① 溶接固定の場合

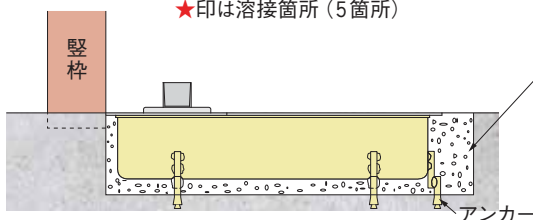


★印は溶接箇所 (5箇所)

### ② モルタル固定の場合



※四方隙間にモルタルにて固定する。



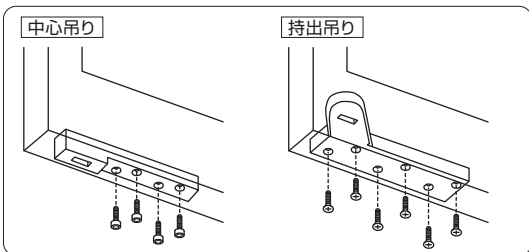
※溶接後、溶接部分に防錆処理をする。  
四方隙間にモルタルにて固定する。

※OAフロアの場合は、フロアヒンジ本体の固定用台座(別途)を設置して下さい。

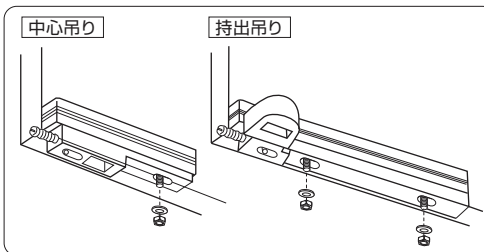
- アームの締付け

アームの締付け不足は音鳴り、ガタツキの原因になります。しっかり締付けて下さい。

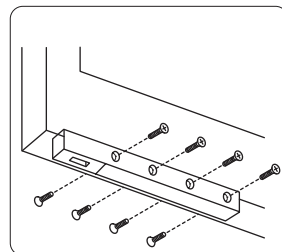
## 一般ドア用



## 強化硝子ドア用

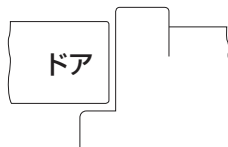


## 防火ドア用



- 戸当り (別途) の設置

一方開き用フロアヒンジには押し代がっています。  
ドアを開めた時に、反対側へ約5° 行き過ぎて停止しますので、必ず戸当り (別途) を設置して下さい。



- 高さ調整

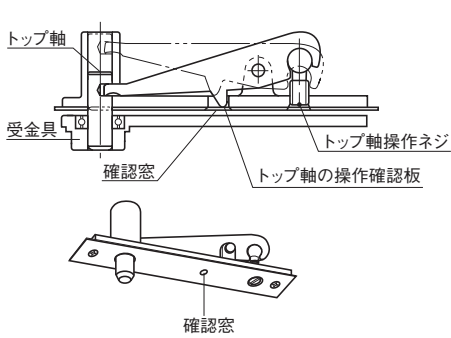
ライナー等を使用し主軸は削らないで下さい。

## ■ドア倒れ防止安全確認方法 (フロアヒンジ・オートパワーヒンジ・ピボットヒンジ)

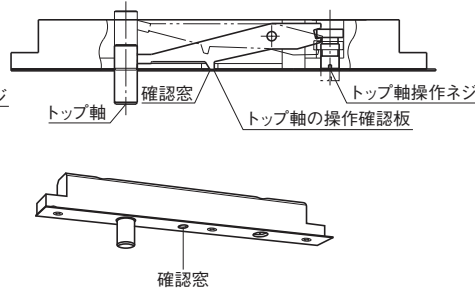
一般ドア用 **スチールドア用** **木製ドア用** **防火ドア用**

ドア吊込み後、ドアがトップピボットで確実に保持され、倒れ等の事故につながらないように、その安全性を確認する方法です。必ず確認して下さい。

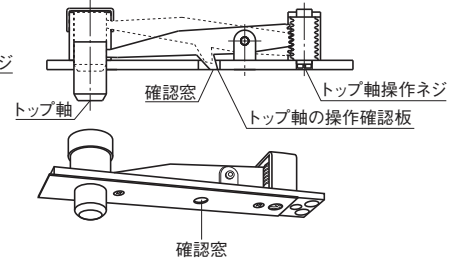
### 中心吊り



#### ● GM型トップピボット



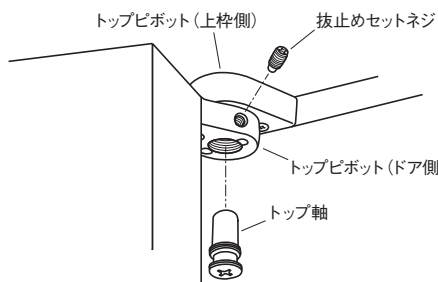
#### ● TP-2000E・TP-4000E トップピボット



トップ軸がトップピボット(ドア側)に完全に入り込むようトップ軸操作ネジが回らなくなるまで締込んで下さい。トップ軸の操作確認板がおりているか確認窓からチェックして下さい。

この状態ならOK      この状態なら危険です

### 持出吊り



トップ軸をトップピボット(ドア側)と同面になるまで締込んだ後、抜止めセットネジをしっかりと締込んで下さい。

この状態ならOK      この状態なら危険です

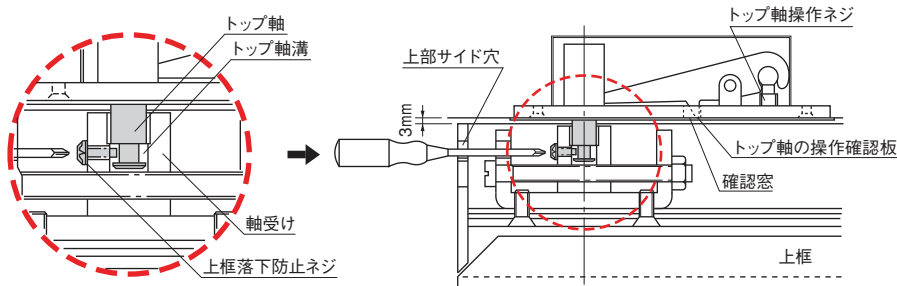
**抜止めセットネジは完全に取外してからトップ軸を操作して下さい。**

## ■上框落下防止について 強化硝子ドア用

強化硝子ドアは、硝子が割れると上框が落下する恐れがあり大変危険ですので、下記手順でドアを吊込み、安全を確認して下さい。

### 中心吊り

1. 上部チリ寸法が3mmになるようにドアを吊込み、トップピボット上枠側(上框落下防止対策品)のトップ軸をドア側の軸受けに挿入して下さい。挿入確認は右図参照。
2. 上框の上部サイド穴(10φ)から、プラスドライバーで下図トップ軸の溝にネジがはまりこむように、上框落下防止ネジを締込んで下さい。
3. 上框落下防止ネジを締込み後、トップ軸操作ネジでトップ軸を上下させて上へ抜けないか確認して下さい。

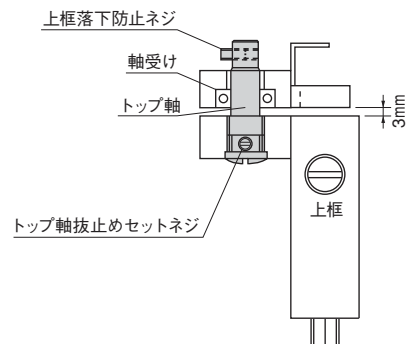


トップ軸がトップピボット(ドア側)に完全に入り込むようトップ軸操作ネジが回らなくなるまで締込んで下さい。トップ軸の操作確認板がおりているか確認窓からチェックして下さい。

この状態ならOK      この状態なら危険です

### 持出吊り

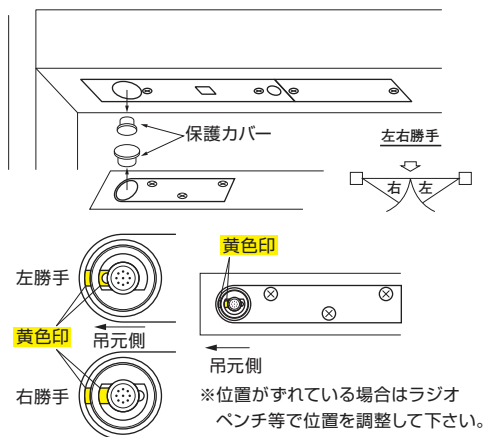
1. 上部チリ寸法が3mmになるようにドアを吊込み、トップ軸(上框落下防止対策品)を軸受けに挿入し締込んで下さい。
2. トップ軸抜止めセットネジをしっかりと締込んで下さい。
3. 挿入したトップ軸の先端部にねじ込まれている上框落下防止ネジを、5mmほど引出して下さい。



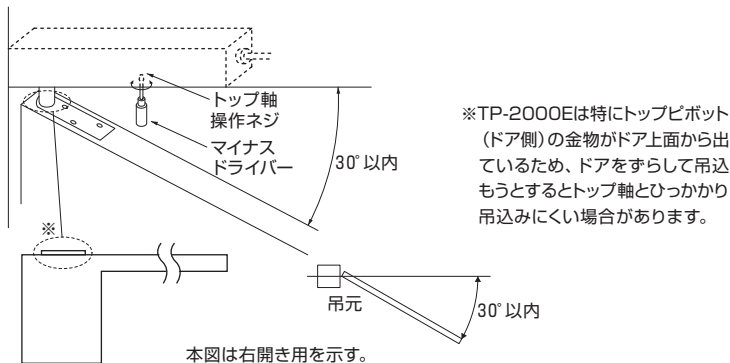
## ■ ドア吊込み方法 (TP-2000E・TP-4000E)

① トップピボット(上枠側)とトップピボット(ドア側)に付いている保護カバーを外し、トップピボット(ドア側)の軸穴の黄色印が吊元側に向いているか確認して下さい。

注) 本体には左右勝手があります。



② ドアの吊込みは30°以内の位置で行って下さい。(一度外した場合は、外した位置から30°以内で吊込んで下さい。)開き角度が小さい程、トップ軸はスムーズに入ります。トップピボット(ドア側)の軸穴をトップ軸の真下の位置に合わせ、マイナスドライバーでトップピボット(上枠側)のトップ軸操作ネジを回し、トップ軸を下げて下さい。トップ軸がトップピボット(ドア側)に完全に入り込むようトップ軸の操作ネジが回らなくなるまで締込んで下さい。完全に入り込まないと通電しません。



## ■ 施工及び取付についての注意事項 防曇形 (防水性能を発揮させる為に以下の内容を厳守して下さい。)

### ● フロアヒンジの据付け方法

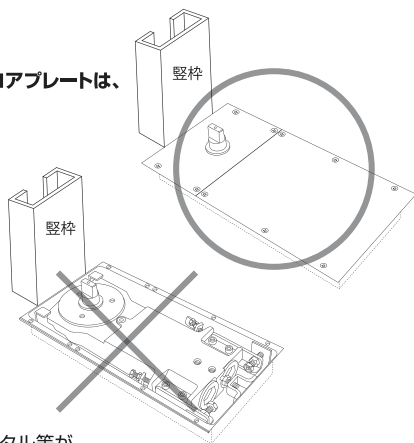
※ 下記内容のシールがフロアプレート養生シート上に貼付けてあります。

USH-1300  
USE-1300 シリーズ

### 厳守

#### フロアヒンジの据付け

モルタル固定完了まで、フロアプレートは、外さないで下さい。



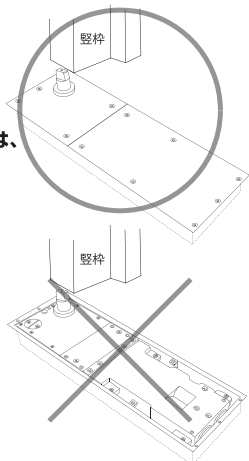
ゴムパッキンの隙間に、モルタル等が噴込むと、防水性能が損なわれる原因になります。

US-2000シリーズ

### 厳守

#### フロアヒンジの据付け

モルタル固定完了まで、フロアプレートは、外さないで下さい。



ゴムパッキンの隙間に、モルタル等が噴込むと、防水性能が損なわれる原因になります。

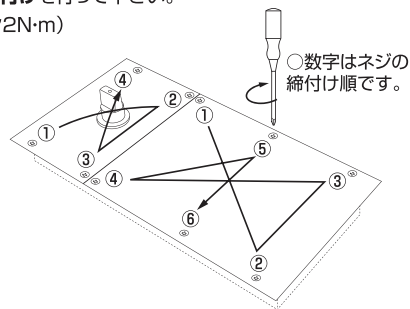
### ● フロアプレート取付ネジの締付け方法

※ 下記内容のシールが主軸部一体型パッキン上面に貼付けてあります。

### 厳守

#### フロアプレート取付ネジの締付け

全ての取付ネジは、予め緩く締込んだ後、対角均等に締付けを行って下さい。(締付けトルク2N・m)

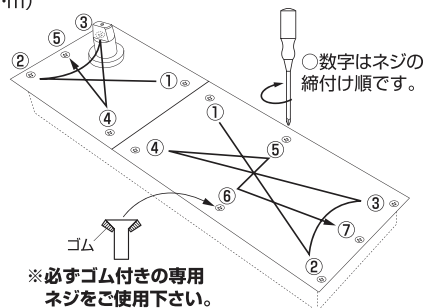


ゴムパッキンが、均等に接地していないと、防水性能が損なわれる原因になります。

### 厳守

#### フロアプレート取付ネジの締付け

全ての取付ネジは、予め緩く締込んだ後、対角均等に締付けを行って下さい。(締付けトルク2N・m)



ゴムパッキンが、均等に接地していないと、防水性能が損なわれる原因になります。